

Npop'n

えぬぽっぴん

VOL.144

NPO POP NEWS=(略して)『Npop'n』

新宿NPO協働推進センターから、社会貢献活動に関連したPOPなNEWS(話題)をお伝えします！

◆X(旧Twitter)



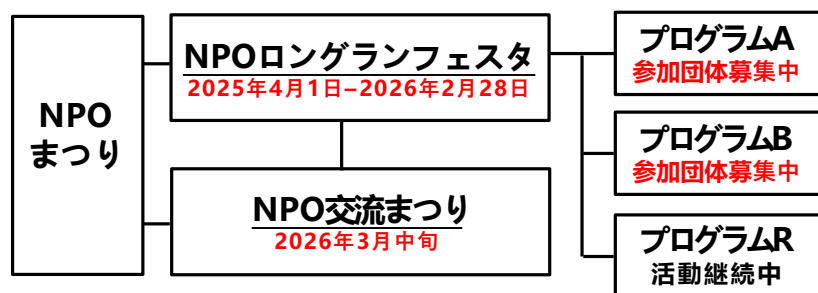
◆Instagram



◆HP



『NPOロングランフェスタ2025@新宿』エントリー募集中！



『NPOロングランフェスタ2025@新宿』への参加団体の登録受付を4月1日から開始しました。他の団体や企業、市民活動グループなどと協力しながら、社会課題の解決や活動PRを進めていきましょう。「まずは1ミリから！」チカラをあわせて社会を動かしませんか。

◆特設サイトはこちらから⇒



◎“NPOまつり”とは？

NPOは社会貢献活動を非営利で行う団体です。よりよい社会を実現するため、社会課題にいち早く気づき、その解決に向けて素早く行動を起こします。そして他の社会貢献活動団体や地域の市民活動グループ、企業、学生ボランティアとも連携しながら活動を進めていきます。

このようなNPOの活動について、社会貢献活動する人々に限らず、学生・次世代や区民・市民の皆さんに知ってもらい、NPOとの交流を深める場として設けたのが“NPOまつり”です。



◆“NPOロングランフェスタ2025@新宿”《開催期間:2025年4月1日～2026年2月28日》

“NPOロングランフェスタ2025@新宿”は3つの協働・共創プログラムで構成しています。

(1) プログラムA：“ソーシャル・スタートアップ”プロジェクト

➤ 相談や連携を通じて新たに課題解決を図る協働（コラボ）型プロジェクトです。

(2) プログラムB：“NPOパワーアップ”プロジェクト

➤ NPOが着手している活動を自らPRする単独型プロジェクトです。

(3) プログラムR：“ソーシャル・スタートアップ”継続プロジェクト

➤ 過去にプログラムAとしてスタートし、今年度も継続して取り組むプロジェクトです。

“防災”や“外出支援”などの地域課題に取り組む団体や、協働を通じて団体の活性化や悩みごとに取り組もうとお考えの団体は、プログラムAの活用を是非ともご検討ください。登録した団体は“協働サポーター”（※）や固有スキルをもつ“プロボノ”の支援を受けられます。2026年2月28日開催予定の表彰コンテストでは、A部門・B部門から審査により、**大賞と副賞10万円**が授与・寄付されます。

※協働サポーター：融資・助成金・NPO運営・地域連携・イノベーション等の分野における有識者・実務家・専門家グループ



（上の写真は、いずれも2024年度ロングランフェスタ表彰コンテストの様子）

◆“NPO交流まつり2025@新宿”《開催予定:2026年3月中旬》

“NPOロングランフェスタ2025@新宿”の登録団体が活動成果を共有する場として、また、社会貢献活動する団体が区民・市民と広く交流する場として、“NPO交流まつり”を開催します。詳細は7月、特設サイトにて発表します。

社会課題を解決する活動への意識が高まる中、プロボノ活動も自分のスキルを生かすためという理由のほか、自らのライフスタイルにあわせて参加していこうという流れも出ています。今回はいろいろな形でプロボノの機会を提供している団体の事例を通して、新しい時代のプロボノのあり方を話し合いました。

◆登壇者

津田 詩織 氏（認定NPO法人サービスグラント 運営ユニット）

白鳥 環 氏（認定NPO法人ETIC. シニアコーディネーター）

桐ヶ谷 昌康 氏（NPO法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京 共同代表）

◆ファシリテーター

山下 馨 氏（一般社団法人新宿NPOネットワーク協議会 代表）

◆事例紹介①津田 詩織（つだ しおり）氏

プロボノとは、職業上のスキル・経験等をボランティアとして提供し、社会課題の解決に成果をもたらすものです。当団体では20年前の設立時から、プロボノワーカー（プロボノに参加する支援者）とプロボノを必要とするNPOとのマッチングに取り組んでいます。

社会課題に取り組むNPOは人材やノウハウなどに課題を抱えています。これらのNPOの運営基盤が強化されることで、より多くの人に支援が届くようになります。課題の解決による運営基盤の強化には、企業での経験が生きていくことが多くあり、特に高度なスキルは必要ではありません。

当団体には、約1万人が登録しており、その半分は新しくボランティア活動を始めようとする人たちです。年齢や職種は多種多様で、動機も社会課題解決に関心がある、スキルやキャリアを伸ばしたい、社外の人と出会いたいなどさまざまです。

当団体の特徴は、プロジェクト型支援です。プロボノ希望者とNPO等をマッチングし、一定期間内にどのような成果物を提供するかを明確にして始めます。参加者がプロボノに費やす時間は週3～5時間とします。チーム型と個人型（GRANT）の2つがあり、両方ともサービスを受けた団体、ボランティア双方から高い評価を受けています。

◆事例紹介②白鳥 環（しらとり たまき）氏

当団体は、プロボノだけでなく、起業家の育成、助成金の提供など幅広い事業に取り組んでいます。プロボノに関わるのは「Beyonders」という事業で、組織を越えて社会課題解決に挑むプロジェクトです。以前から企業間や企業とNPO間の交流を通して事業開発するプラットフォームがあったことからスタートしました。「誰でも参加できる」「気軽にできる」「心からワクワクする」がこのプロジェクトの特徴です。対象とするプロジェクトは、まだ実績のない、試行錯誤することを前提にした内容に限定し、参加者も仕事以外で視野を広めたい人に絞り、期間は約3ヶ月としています。事前にプロジェクトオーナーの話を直接聞くことができます。

この他にも、企業向けのプロボノ導入などのコンサルティング、企業向けの越境体験プロデュース等も行っています。

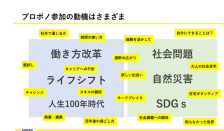
プロボノ新時代は、楽しさを大切にすることが大事だと感じています。「自由に発想する」(Free Your Mind)、「ゴールを理解する」(Understand The Goals)、「関係性を大切にする」(Network)のキーワードの頭文字をとると「FUN」になります。誰もが貢献できるチャンスがあると思います。

◆事例紹介③桐ヶ谷 昌康（きりがや まさやす）氏

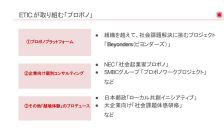
当団体は、資金の提供とともに経営面で伴走して支援する活動を行っています。世界6カ国に30団体以上ある団体の1つです。2003年から活動を始め、現在は約100人のパートナー（社会人）が所属しています。パートナーは会費を納め、自ら支援活動に参加します。ミッションは、活動を通じて団体が成長し、社会課題の解決を目指していくことと、参加したパートナーが成長することです。その原資はパートナーが納めた会費です。支援先は、社会課題に取り組んでいる団体（個人も可）で、毎年20～50団体の中から3～4団体程度を選考しています。現在、昨年と今年に開始した計9団体の支援をしています。



津田氏



白鳥氏



桐ヶ谷氏

選考基準は①起業家精神、②ビジネスモデル、③社会的インパクト、④社会からの共感、⑤起業家とパートナー相互の成長の可能性の5つで、団体には課題が発生している理由と、そこを出発点とする悪循環を改善するポイントを示していただきます。

ボランティア活動として捉えているため、成功報酬はなく、リターンを求めています。社会が変わることがリターンと言えるでしょう。パートナーの満足度は高く、社会課題の解決のための活動へ参加したい、新しい環境に身を置きたいなどの理由があげられます。

◆トークセッション



【質 問】副業が広がっていますが、副業とプロボノの違いはどこにあるのでしょうか？

【津 田】まず社会課題に深く触れる点が違います。また仕事の進め方も違い、副業はお金をもらい、一人で仕事をすることが多いと思いますが、プロボノはボランティアとしてチームで行います。プロボノがきっかけで、スキルや自信がついて、副業に繋がったという例もあります。

【桐ヶ谷】副業は専門性を活かして行う仕事です。プロボノは専門外のことにチャレンジもできるし、これまで関わったことのない体験を通じて学ぶことが最大の魅力です。

【白 鳥】プロボノは無報酬だからこそ、入りやすいということで、最初のステップとして選ぶ方も多いと思います。

【質 問】企業がプロボノという言葉を使い始めたのはいつ頃でしょうか？

【白 鳥】東日本大震災が発生した頃、CSR（＝企業の社会的責任）が企業にとって身近な存在になったと感じています。社員がボランティアやプロボノとして参加したことによって、社員の成長や事業に効果をもたらしたという実感を持ったのがその頃ではないでしょうか？

【津 田】企業がビジネスに対して、ポジティブな影響があると捉えられるようになったのは、最近のことだと思います。将来を見据えた新しいビジネスモデルを創造するため、社会課題に触れ、その解決までを目の当たりにすることで、活動経験を仕事に活かすという育成の視点から参加する企業も増えています。参加する社員にとっては、プロボノに参加する際のハードルが下がるという利点があります。

【質 問】現在の社会情勢の変化などから気になる点や課題はありますか？

【津 田】短時間でも活動できる環境を整える必要があると感じています。育休中の女性が日中に行うプロボノ（ママボノ）がありますが、復職すると、仕事、家庭、子育てで多忙になり、関心があっても参加できません。今後、介護などで時間のない方が増えていくと考えられるので、短時間のプロボノをできるようにしていきたいと考えています。

【質 問】社会課題に興味を持つ若い世代にむけて、何かアドバイスはありますか？

【白 鳥】ビジネスと社会問題解決との垣根が無くなってきている、と感じています。若者向けのビジネスプラン・コンテストを企画すると、応募のほとんどが「ソーシャルビジネス」です。社会課題解決のための活動がNPO、という意識を持ってない人が多い。様々な社会参画の方法があるので、各自のライフスタイル等に合わせて、プロボノとして参加したり、活動できないなら寄付をする等社会とつながっていることを実感していきたいという想いがあるようです。

【桐ヶ谷】若い人に限らず、転職先を選ぶ理由として、その会社の事業がどのような社会課題解決に繋がっているのかということを優先順位とする人が増えたと感じています。社会課題解決のための取り組みとビジネスの垣根は下がったと感じています。

✧ちょっと気になるNPO団体を紹介します✧

《認定NPO法人バディチーム》

～誰もが互いに支え合いみんなで子育て～

バディチームは子育て支援・虐待防止を目的に家庭型の支援活動を行っています。家庭を訪問して保育や家事などの具体的なお手伝いをしながら家庭の孤立を防ぎ、複雑な事情を抱えながらも子育てできるよう、親子を支える活動を行っています。

♪当センターで行われる「第192回市民とNPOの交流サロン」に登壇します♪

開催日時：2025年7月10日（木）18時45分～20時45分

参加費：無料

参加方法：オンライン（詳細は<https://snponet.net>）

語り手：認定NPO法人バディチーム 宮田 理香 氏

主催・問い合わせ：新宿NPOネットワーク協議会

【TEL】03-5206-6527 【Email】hiroba@s-nponet.net

後援：新宿区

申込みは
こちらから



聴かせて
NPO!

センターからのお知らせ

講座

【個人情報管理講座】

～今の理解と管理・運用で大丈夫？～

- 【日 時】 7月3日(木)18:45～20:45
【内 容】 個人情報保護法、個人情報の取り扱いルール(利用目的、第三者提供、安全管理義務等)、NPOに求められる対応など適切な管理・運用を学びます。
【講 師】 三木 由希子 氏(NPO法人 情報公開クリアリングハウス理事長)
【会 場】 当センター 501会議室
【参加費】 1,000円(資料代等)
【定 員】 会場(先着順)20名
オンライン(Zoom)40名

講座

【法務講座】

～その認識で大丈夫？NPOと法令順守～

- 【日 時】 7月11日(金)18:45～20:45
【内 容】 NPO法、労働法、知的財産権など、NPO法人を設立・運営し、活動を継続する上で知っておくべき法律全般について学びます。
【講 師】 瀧口 徹 氏(BLP-Networkメンバー・弁護士)
【会 場】 当センター 501会議室
【参加費】 1,000円(資料代等)
【定 員】 会場(先着順)20名
オンライン(Zoom)40名

講座

【会計入門講座①②】

～仕訳をマスターしよう～

- 【日 時】 ①7月17日(木)18:45～20:45
②7月31日(木)18:45～20:45
【内 容】 経理の基本となる「簿記」、その要となる「仕訳」のルールやポイントを学び、実際の練習を行うことで仕訳が身に付きます。
【講 師】 田中 義幸 氏(NPO法人日本公会計支援協会理事長、公認会計士・税理士)
【会 場】 当センター 501会議室
【参加費】 各回1,000円(資料代等)
【定 員】 会場(先着順)20名
オンライン(Zoom)40名

シンポジウム

食べものを『捨てる』から『分かち合う』社会へ

～「食品ロス」をゼロにしていこう！～

- 【日 時】 7月26日(土)13:30～16:30
【内 容】 「食品ロス」に対する正しい理解を深め、食と向き合い支えている団体の活動・取り組みの事例紹介、トークセッションを行います。
【会 場】 当センター 1階多目的室
【対 象】 「食品ロス」や「食の貧困」「余剰食品の活用」について知りたい方、自分事として捉え実践していきたい方
【参加費】 無料
【定 員】 会場(先着順)40名
オンライン(Zoom)40名

《会場用》《オンライン用》



※ 詳細はHPにてご確認ください

- ★参加ご希望の方は、電話、FAX、メールにて、下記お問い合わせ先へご連絡ください。
★講座・イベントは変更・延期又は中止する場合がございます。最新情報等につきましては、当センターHPをご参照ください。【URL: <https://snponet.net/>】

【講座申込フォーム】

《会場参加用》

《オンライン参加用》



アクセス

〈バスでお越しになる場合〉(いずれの停留所からも徒歩で4分)

各線 新宿駅 西口より関東バス〈宿02〉で「小滝橋」下車(乗車時間10分前後)

各線 高田馬場駅 早稲田口より都バス〈飯64〉または〈上69〉で「小滝橋(郵便局前)」下車(乗車時間5分前後)

〈最寄駅から徒歩でお越しになる場合〉

東京メトロ東西線 落合駅 西武新宿線 下落合駅より徒歩12分

JR山手線・東京メトロ東西線・西武新宿線 高田馬場駅、JR中央線 東中野駅・大久保駅、都営大江戸線 東中野駅・中井駅より徒歩15分

アクセスは
こちらから



情報・お問い合わせ

TEL : 03-5386-1315 FAX : 03-5386-1318
E-mail : hiroba@s-nponet.net URL : <https://snponet.net>
Facebook : <https://www.facebook.com/shinjuku.npo.center>
X(Twitter) : https://twitter.com/s_NPOcenter
Instagram : https://www.instagram.com/npo_kyogi/

作成&発行

新宿区立新宿NPO協働推進センター
指定管理者：一般社団法人 新宿NPOネットワーク協議会
(〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12)
編集：
関根 聡史 林 幸靖 月岡 英人 國府田 明子 大橋 通雄

新宿NPO協働推進センターは、社会貢献活動団体のネットワークづくりの拠点施設です！
センターでは、社会貢献活動団体への施設の貸出しの他、相談や情報提供、講座等、さまざまな事業を実施しています。